

➤ 10日 土曜

民数

21:10 イスラエルの子らは旅立って、オボテで宿営した。

21:11 彼らはオボテを旅立ち、日の昇る方、モアブに面した荒野にあるイエ・ハ・アバリムに宿営した。

21:12 彼らはそこを旅立ち、ゼレデの谷に宿営し、

21:13 さらにそこを旅立って、アモリ人の国境から広がっている荒野にある、アルノン川の対岸に宿営した。アルノン川は、モアブとアモリ人との間にあるモアブの国境だったからである。

21:14 それで、『【主】の戦いの書』にもこう言われている。「スパのワヘブとアルノンの谷川とともに、

21:15 アルの定住地に達する谷川の支流は、モアブの領土を支えている。」

21:16 彼らはそこからベエルに向かった。それは【主】がモーセに、「民を集めよ。わたしが彼らに水を与える」と言われた井戸である。

21:17 そのとき、イスラエルはこの歌を歌った。「井戸よ、湧きいでよ。あなたがたは、これに向かって歌え。

21:18 笏をもって、杖をもって、君主たちが掘り、民の尊き者たちが掘り下げたその井戸に。」彼らは荒野からマタナに進み、

21:19 マタナからナハリエルに、ナハリエルからバモテに、

21:20 バモテからモアブの野にある谷に行き、荒れ野を見下ろすピスガの頂に着いた。

イスラエルは遠回りをしなければなりませんでした。それが、それは主の恵ともなりました。後の世に「井



戸よ、湧き出でよ」と歌になったほどで、川と井戸、すなわち水を得るといふ幸いを得たのです。

私たちの人生も遠回りも決して失敗ではありません。主の恵をそのためにいただけるのです。ただし、それには条件があります。もしも悔い改めるべきことがあれば、悔い改め、あくまでも主に従うことです。主はその信仰に答えて、幸いを用意してくださいますから、主の御心を常に意識していきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

